

宿根草・枝物の品目別収益性

中山間地域における早期秋冷等変化に富んだ気象条件や遊休農地を活用した地域振興型特産作物としての宿根草・枝物について、現地導入の参考となる品目ごとの収益性、労働時間及び収益性を試算する。

a当たり所得が見込める品目は、セントーレア・マクロセファラなど8品目で、アルケミラ・モーリス、パニカム・ジャーマン、ヒメヒマワリ・サンバースト及びモナルダ・パノラマの4品目は労働集約的品目で、セントーレア・マクロセファラ、オミナエシ・早生名古屋、アキレア・パルスベリオール及びサンゴミズキの4品目は土地利用型品目である(表1、図1)。

これらの品目を組み合わせることで、6月から3月までのほぼ周年出荷が可能である(表2)。

表1 宿根草・枝物の品目・品種別収益性

品目・品種名	a当たり単価		a当たりa当たり		自家労働	自家労働
	収量(千本)	(円)	労働時間(時間)	所得	2人当たり	2人当たり
					作付可能面積	最大可能所得
アルケミラ・モーリス	11.4	20.0	114.6			
アキレア・パルスベリオール	5.2	15.3	65.1			
ヒメヒマワリ・サンバースト	6.0	13.0	88.9			
セントーレア・マクロセファラ	2.6	49.5	54.5			
モナルダ・パノラマ	5.3	30.1	72.2			
オミナエシ・早生名古屋	2.0	25.1	56.1			
パニカム・ジャーマン	27.4	12.5	173.7			
枝物 サンゴミズキ	3.9	27.2	144.5			

- (注1) 栽植様式 2条植え(40×30cm) アルケミラ、アキレア、ヒメヒマワリ、モナルダ、オミナエシ
3条植え(30×30cm) パニカム 1条植え(70×70cm) サンゴミズキ
- (注2) a当たり収量 採花・切り枝3ヶ年の平均×生存株率×80%(収穫ロス率20%)
- (注3) 平均単価 東京都内花き市場の東北研究所内における出荷期の平均単価
モナルダは東京都内花き市場の平成15年、パニカムは「八戸市中央卸売市場花き部」での平成13~15年の平均単価
- (注4) a当たり労働時間 東北研究所内の作業労働時間より算出
- (注5) a当たり所得 粗収益-(物財費+成園費+流通経費-光熱動力費-農具費)
:10万円以上 :1~10万円 :1万円以下
- (注6) 自家労働2人当たり作付可能面積 2人当たり旬労働時間/最大旬別採花調整時間
:25a以上 :10~25a :10a以下
- (注7) 自家労働2人当たり最大可能所得 a当たり所得×自家労働2人当たり作付可能面積
:100万円以上 :50~100万円 :50万円以下

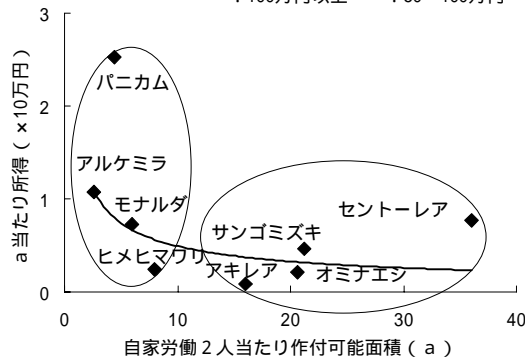


図1 宿根草・枝物の品目別収益性及び作付可能面積
(注1) 自家労働2人当たり作付可能面積 2人当たり旬労働時間/最大旬別採花調整時間
(注2) 自家労働2人当たり最大可能所得 a当たり所得×自家労働2人当たり作付可能面積

表2 宿根草・枝物の品目別月別労働割合

品目・品種名	月別労働時間割合								採花・切り枝ピーク	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		12~3月
アルケミラ・モーリス		**	*****							6月上旬
アキレア・パルスベリオール		*	***	*	*	*				6月中旬
ヒメヒマワリ・サンバースト		*	*	***	*	*				7月下旬
セントーレア・マクロセファラ		*	**	**	*	*				7月上旬
モナルダ・パノラマ		*	*	*****	*	*				7月中旬
オミナエシ・早生名古屋		*	*	*	**	*				8月上旬
パニカム・ジャーマン					****	*****				8月下旬~9月
サンゴミズキ						**	**	**	**	9月下旬~3月

(注1) 労働時間割合の*は期間計の10%を表す
(注2) 網掛けは採花・切り枝期間を表す